

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2003-84856(P2003-84856A)
【公開日】平成15年3月19日(2003.3.19)
【出願番号】特願2001-276730(P2001-276730)
【国際特許分類第7版】
G 0 6 F 1/00
【F I】
G 0 6 F 1/00 3 7 0 Z

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月15日(2005.2.15)

【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

単位時間当たりの命令実行数で表す処理性能をハードウェアにより制御可能な演算処理部と、

予め定めた時間間隔で前記処理性能を計測するモニタリング部と、前記演算処理部の処理性能を変更制御する制御部と、

前記処理性能を変更制御する基準となる制御情報を格納する制御情報格納部と、

前記モニタリング部が計測した処理性能の履歴情報を格納した履歴情報格納部からなり、前記制御部は前記制御情報および履歴情報に基づいて処理性能を変更制御することを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項2】

請求項1の記載において、前記モニタリング部は稼働率を計測することを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項3】

請求項1ないし請求項2の何れか1の記載において、前記制御部は、稼働率が所定範囲外の状態が所定時間以上継続したとき処理性能を変更することを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項4】

請求項1ないし請求項3の何れか1の記載において、処理性能の変更はダミーステップの挿入により行うことを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項5】

請求項1ないし請求項4の何れか1の記載において、処理性能の変更は処理周波数の変更により行うことを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項6】

請求項1ないし請求項5の何れか1の記載において、前記制御情報は端末を介して無条件に変更可能であることを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項7】

請求項1ないし請求項6の何れか1の記載において、前記制御情報はネットワークを介して無条件に変更可能であることを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項8】

請求項1ないし請求項7の何れか1の記載において、計算機の処理性能変更装置は課金

部を備え、該課金部は演算処理部の使用料金を演算して課金することを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項 9】

請求項 8 の記載において、前記使用料金は前記履歴情報をもとに演算することを特徴とする計算機の処理性能変更装置。

【請求項 10】

単位時間当たりの命令実行数で表す処理性能をハードウェアにより制御可能な演算処理部を含むデータ処理装置の処理性能制御方法において、

予め定めた時間間隔で前記演算処理部の処理性能を計測し、

前記演算処理部の前記処理性能を変更制御する基準となる制御情報を格納し、

前記演算処理部の前記計測された処理性能の履歴情報を格納し、

前記制御情報および前記履歴情報に基づいて前記演算処理部の処理性能を変更制御することを特徴とする処理性能制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

単位時間当たりの命令実行数で表す処理性能をハードウェアにより制御可能な演算処理部と、予め定めた時間間隔で前記処理性能を計測するモニタリング部と、前記演算処理部の処理性能を変更制御する制御部と、前記処理性能を変更制御する基準となる制御情報を格納する制御情報格納部と、前記モニタリング部が計測した処理性能の履歴情報を格納した履歴情報格納部からなり、前記制御部は前記制御情報および履歴情報に基づいて処理性能を変更制御する。